

一般社団法人栃木県バスケットボール協会
平成30年度 第2回理事会議事録

日時:平成30年6月26日(火)

会場:文星芸術大学附属高校研修室

出席:(理事)17名 阿部泰紀、上野秀夫、小曾戸和彦、遠藤嘉津敏、高橋哲夫、鈴木克美、福田悦男
直井秀幸、新村雅司、塚原弘江、福田憲司、石渡光平、佐藤智信、日向野信行
前原延之、小林史雄、山田将樹

(特任) 阿久津宏一

国体各種別監督(3名):網野友雄、渡辺明美、高崎徹

欠席:(理事)10名 片桐晃、中村剛久、杉森豪、渡邊諭、北條和寿、別井明彦、矢野まなみ、
佐々木清美、古谷常夫、横澤隆一

(監事)2名 井上尉央、荻美紀

1 あいさつ

阿部会長:代議員会前の理事会となるので、審議等よろしく願います。

2 報告事項

(1)各種大会報告

ア ミニ連:第38回スポーツ少年団交流大会で 男子優勝 宮の原・準優勝 峰、
女子優勝 宮の原・準優勝 北押原の4チームが山梨県で行われる関東大会に出場する。

イ 高体連:インターハイ予選で、男子文星芸大附属、女子矢板雄王が優勝した。
矢板中央は初優勝をした。

ウ 中体連:春季大会が6/1~3で行われ、男子一条中、女子陽南中が優勝した

(2)その他報告

ア JBAの選手育成指導者表彰について
千村隆 氏と 香山孝之 氏が受賞した。

イ U18 2018FIBAアジア選手権大会国際審判員の派遣について
増淵泰久(国際審判員)氏 が派遣されることになった。

ウ 会議報告

(ア) JBAの関東ブロック連絡会:報告書・資料をメールで送信した。

(イ) 関東協会会議

主な内容は、今後の関東協会の在り方であった。協会として継続していき、会議の在り方については今後検討していく。

(ウ) JBA定時評議員会

2017年度の事業報告・収支決算、役員改選等が承認された。資料はメールで送信済。

(エ) 熱中症事故防止について:スポーツ庁から文書が届いた。事故防止に努めてほしい。

(オ) 賛助会について:5月に会員へ礼状と加入申し込みを送付した。理事にも協力願う。

(カ) その他

ブックス ①2017-2018シーズンの活動報告について(プリント参照)

②2018-2019シーズンのチーム区分けについて(プリント参照)

③プレシーズンマッチについて(プリント参照)

④アーリーカップについて(プリント参照)

3 定足数について

理事総数27名、内出席者17名で、本会議は成立する。

4 議事録署名人:社会人連 石渡光平 氏と中体連 前原延之 氏に願います。

5 審議事項(議長:会長)

(1)平成30年度国体選手・監督・スタッフの選考について(強化部)

ア 成年男子(白鷗大学:網野監督)

○今年は、白鷗大学の学生で編成することになり選手を選考した。

○監督は落合コーチを予定していたが、6月末で退職することになり、国体監督の推薦を協会に願いました。

○監督は、社会人連の石渡光平氏に願います。

イ 成年女子(白鷗大学:佐藤監督)

○例年どおり白鷗大の単独チームとなる。

○No.8の選手について、昨年・一昨年と福井県から「ふるさと制度」を使い国体に出場している。

○今年栃木県からの出場については、福井県とJBAには確認してOKを取っているが、協会からも確認してほしい。

※栃バ協として確認:6/27福井県国体準室、JBAへ確認

○対象となる選手は、ふるさと制度を使い福井県から第71・72回に出場している。

○ふるさと制度1回目は切れるが、栃木県からの出場は可能である。

ウ 少年女子(高体連:渡辺明美監督)

○矢板中央4名、宇中女3名、文星女子4名、作新1名で編成する。

- スタッフは昨年と同じ。
- エ 少年男子(高体連:高崎徹)
 - 文星芸大附5名、宇工5名、大田原1名の11名となる。
 - 最後のストレート出場となる。

—承認される—

- (2) 平成29年度事業報告について(管理部)
 - 6/30の代議員会の資料となるので審議願う。
 - 資料に沿って説明

—承認される—

- (3) 平成29年度収支決算について(財務部)
 - 経常収益計と経常費用計を見ると、1,025,363円の赤字となっている。
 - 昨年と比較すると、事業費削減がなされ赤字額が減少した。
 - その結果、正味財産期末残高は、3,446,854円となった。
 - 監事の監査は資料⑤のとおり終了している。

—承認される—

- (4) 第94回天皇杯・第85回皇后杯栃木県代表決定トーナメント大会要項について(競技部)
 - 昨年度の1次ラウンドが今年から、栃木県代表決定トーナメント大会と名称が変更になった。
 - 組合せについては、7月上旬に決定し公表する。
 - 運営費はJBAより20万円D-fundで支給される。
 - JBAより強化奨励金が優勝チームに贈呈される。

—承認される—

- (5) U15カテゴリー選手登録・大会エントリーについて(U15カテゴリー部会)
 - JBAより、U15カテゴリーの選手登録と大会エントリーについては、栃バ協でルールを作ることになった。
 - U15カテゴリー部会で検討の結果、今年度の中学1年生より、選手登録と大会エントリーのすみ分けをすることにした。(資料参照)
 - プリントを配布して徹底化を図りたい。
 - U15カテゴリーの競技環境を整えなければならない。部会ではリーグ戦化を企画している。

—承認される—

- (6) クレジットカードの使用について(財務部)
 - 3×3委員会では大会機材の使用料の支払について、カードを使用したい。
 - JBAに確認したら、各県でルールを作って管理するという条件で了解を得た。
 - 別紙資料のとおり規定を決め申請書を提出することで認めたい。
 - 承認されれば、協会で作りたい。

—承認される—

- (7) 平成30・31年度理事の選任について(幹部会)
 - 理事は、推薦された代議員の中から選ぶことになっている。
 - 5/29に幹部会を開き原案を検討した。
 - 理事数を27から20に減らした。
 - 77回国体の少年種別の強化を図るため、特任理事を2名選任することにした。

—承認される—

- (8) 平成30・31年度協会役員について(幹部会)
 - 執行部案を用意したい。
 - 執行部案については、幹部会で検討した原案を提案する。
 - 代議員会では、理事が決定した後、新理事による臨時理事会を別室に招集する。
 - 臨時理事会では、原案をもとに審議し役員を決める。
 - この間、代議員会は休憩とする。
 - 代議員会を再開して新役員を発表する。新代議員には、文書で報告する。

—承認される—

- (9) 旅費規定の見直しについて(財務部)
 - 法人化して一期が終わり、旅費の健全執行を図るため、旅費規定を見直したい。

—承認される—

6 その他

- (1) 3×3委員会
 - 6/30・7/1エグゼクティブプレミアがオリオンスクエアで開催されるが、その会場でU12の大会を午前中に開催する。
 - 7/28・29にFIBAのワールドツアーが行われるが、そこでもU12の大会を開催する。
- (2) 九州高校男子バスケットボール大会における審判に対する暴行について
 - JBA定時評議員会において宮崎県協会より謝罪があった。
 - このようなことは、絶対にあってはならないことである。
 - 各連盟において、このようなことが起こらないよう指導してほしい。

7 あいさつ

上野副会長: 退任される理事にはご苦勞様でした。慎重審議ありがとうございました。